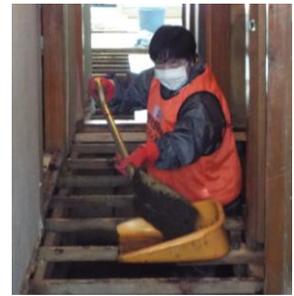


■災害ボランティア

2016年10月16日久慈市内において、台風10号により被害を受けた久慈地区の災害ボランティア活動を行いました。

秋晴れの中、それぞれに予定がある中、高田議長を含め9名の方からのご協力を頂き、作業にあたりました。内容は、2件の住宅の「床下の泥だし」と「泥水に浸かった流し台の撤去」でした。

参加者の中には、今回で5回目の活動という方もいて、狭い中での要領等を教えて頂き作業を進めることが出来たこと、大工仕事の得意な方もいたことから、約半日で終わることが出来ました。



床下には堆積した泥が5cmもあり、スコップで剥ぎ取るのが重いのに加え、根太（住宅の床をはるために必要となる下地）が30cm間隔に配置されており、思うように体が動かせない中での作業となりました。翌々日に筋肉痛を発症した方がいましたがボランティア保険は適用されませんでした（笑）



作業を終えての参加者からの感想を紹介します。

- ボランティアセンターには各種道具が揃えられていて、やる気と体ひとつで行動できます。
- 初対面の人も多い中、声を掛け合って分担を決め、速やかに作業が始められて良かった。
- 自分にできる仕事があるか不安だったが、経験者の方に教えてもらえ作業出来たので良かった。
- 単純な作業ではあるけれども狭い場所での作業となり、効率も悪く肉体的にもきつかった。
- お家の方だけでは何日もかかる作業なので、ボランティアに参加して良かった。
- 作業の終了時には私たちなりに達成感を味わえた。
- 被災後すぐには県外からも含め多くのボランティアが来てくれたが、最近は応募数が減少してきていることから、1か月以上経った現在のボランティアが貴重な存在です。（ボランティアセンター職員談）

編集後記

今回の行動は、列島クリーンキャンペーンに替えての取り組みであったが、一定の成果を残せたものと思われる。今後もこのような活動を継続して、地域に協力する地域協議会を目指していきます。